

令和6年7月 定例教育委員会々議録

1 日 時 令和6年7月26日(金) 午後1時30分～

2 定例教育委員会

開催場所 会議室301

3 出席委員の氏名

教 育 長	小 林 靖 直	教育長職務代理者	中 野 信 男
委 員	斎 藤 純 郎	委 員	小 林 恵 子
委 員	上 田 佳 澄	委 員	渡 邊 愛

4 説明のため出席した職員

教 育 次 長	岡 部 清 美	主 幹	大 森 亨
学校教育課長	長 和 俊	社会教育課長	石 黒 昭 彦
統括指導主事	関 根 幸 子		

5 本委員会書記

学 校 教 育 課 藤 野 聡 他 2 名

6 傍聴人

なし

7 会議に付議した事件

会議録の承認

諸報告

- (1) 行事報告及び行事予定
- (2) 教育長報告
- (3) 寄附報告

専決処分の報告について

報告第 7 号 共催・後援の教育長専決報告について

8 閉 会

会議録

別紙のとおり

1 開 会 宣 言

午後 1 時 30 分～

2 会議録の承認

全員異議なく、令和 6 年 6 月定例教育委員会々議録は承認された。

3 諸報告

(1) 行事報告及び行事予定

〈各課長が報告〉

○委員（斎藤 純郎）

長善館史料館で行なわれている「長善館夏の企画展」を観覧してきた。今回の企画展は、二代目館主 鈴木惕軒の先進的教育と多才な門下たちをテーマにした企画であった。

惕軒の息子である鈴木虎雄が明治 22 年、11 歳のときに父の実家である小千谷の片貝を訪れた際に記した「片貝紀行」や門下生である高橋竹之介が明治 30 年に描いた貴重な絵図や漢詩などが展示されていた。高橋竹之介は明治 29 年に発生した横田切れの翌年に「北越治水策」をまとめ、山県有朋らに大河津分水の建設を直談判し、これを受けて明治政府は明治 40 年にようやく工事を決定したそう。展示されている高橋竹之介の絵図と漢詩は渡部の集落から日本海へ分水路を開削する場面を描いており、国策として開削に取り組んでほしいという熱い思いを表しているようだった。

貴重な資料を拝見させていただき感謝する。

○社会教育課長（石黒 昭彦）

来館いただき感謝する。企画展は 8 月 31 日まで開催しているので、もしお時間があれば皆様にも足を運んでいただきたい。

○委員（中野 信男）

分水プールの他に、市内プールの一般開放の状況を伺いたい。

○社会教育課長（石黒 昭彦）

市内 3 地区でプールの一般開放をしている。そのうち、市が直営で運営しているプールは分水プールのみである。指定管理していただいている施設では、ビジョンよしだ、B&G 海洋センターがプールの一般開放をしている。また、過去に燕西小学校のプールが市民プールであったが、こちらは現在、学校専用のプールとなっている。

(2) 教育長報告

〈小林教育長が以下のとおり報告〉

1) はじめに

- 校長面談を行った。四半期を終えた現在の学校運営の進捗状況や、児童生徒及び教職員の様子などについて、直接伺うことができた。実情を見極め、成果をあげながら、課題解決のために奮闘する各校に敬意を表す。

2) 7月の行事から

① 燕三条エラールピアノ公演【7月3日（水）】（文化会館）

日本に数台しかない、貴重なピアノの演奏を市内の中学一年生とともに聴くことができた。文化庁の事業を活用し実現した。

② 第1回燕市学校給食運営委員会【7月4日（木）】（つばめホール）

昨年度の事業報告及び会計決算報告のあと、今年度の事業計画、会計予算について説明があった。「燕ジュニア検定献立」の提供も予定している。

③ 第1回燕市社会教育委員会の会議【7月5日（金）】（中央公民館）

昨年度の活動報告及び中越地区社会教育委員連絡協議会の報告のあと、今年度の活動計画、関係団体への補助金交付についてご審議いただいた。

④ 「地図っておもしろい！昔の地図（絵図）展」【7月9日（火）～21日（日）】
（吉田公民館ミニギャラリー）

奈良時代から近現代の吉田地区や西蒲地区、新潟県内の当時のまちの地図や絵図を観覧した。資料を提供してくださった方々の説明もわかりやすく、風景や当時の人々の暮らしに思いを馳せることができた。

⑤ 第1回燕市食物アレルギー対応委員会【7月10日（水）】（301会議室）

園児、児童生徒のアレルギー対応を検討していただいた。2名の専門医をはじめとする委員からのご指導やアドバイスを確実に生かしていく。

⑥ 第12回東京ヤクルトスワローズ少年野球交流大会燕市予選会

【7月13日（土）～15日（月・祝）】（吉田野球場、スポーツランド燕）

15日の決勝戦を観戦し、その後の表彰式で表彰状を渡した。白球を追う子どもたちのひたむきな姿に感動と元気をいただいた。「吉田北小スピリッツ」が、11月に沖縄県浦添市で行われる本選への出場権を獲得した。

⑦ 燕市青少年育成協議会総会及び研修会【7月16日（火）】（中央公民館）

令和5年度の事業及び決算について、令和6年度の役員の選任、事業計画及び予算について、原案通り承認された。研修会において「子どもたちのICT環境の現状」について講演した。

⑧ 第1回燕市教育支援委員会【7月17日（水）】（中央公民館）

在籍中の児童生徒の転籍について、ご協議いただいた。委員である医師のご指摘やご助言は参考になった。多くの教職員で共有していきたい。

3) 結びに

- 体育館に移動式エアコンを導入した。「夏休み中も、部活動などの活動を安心して行うことができる」と生徒や教職員から喜びの声が届いている。

○委員（小林 恵子）

私が関わっている学校の様子をみていると、小学校では特別支援学級に在籍しているが、中学校に進学したら通常学級に入りたいというお子さんが増えていて、授業がうまく進められないという状況があると感じる。燕市の状況を伺いたい。

○統括指導主事（関根 幸子）

燕市も同様な傾向があると思う。

○委員（小林 恵子）

保護者との面談が上手くいかないという話を聞くことが多い。特別支援学級と通常学級の特性をよく理解していただいた上で現在のお子さんの状態にあった場所を適切に選んでいくように就学支援をしていただきたいと思う。

○統括指導主事（関根 幸子）

特別支援学級の良さは、支援が必要なお子さんを将来的に自立できるように支援していくことである。そのことを十分に理解していただいたうえで、お子さんが学ぶためにはどの場所が適切なのかを考えてもらえるよう努めていきたい。

○主幹（大森 亨）

去年は教育委員会の担当もお子さんに合った支援の在り方を保護者へ説明し、できるだけご理解をいただけるよう努めていた。今年も同様に対応していく。

(3) 寄附報告

2件の寄附について

〈No. 1 について長学校教育課長が説明〉

〈No. 2 について石黒社会教育課長が説明〉

4 専決処分の報告について

報告第 7 号 専決処分の報告について

9 件の共催・後援申請について

〈No. 1、2 について石黒社会教育課長が説明〉

〈No. 3、4、5、6、7、8、9 について長学校教育課長が説明〉

○委員（上田 佳澄）

No. 6 の WRO とは何か。

○学校教育課長（長 和俊）

World Robot Olympiad の略で、ロボットのコンテストである。

○委員（中野 信男）

No. 9 の「一般社団法人日本リーダー育成推進協会」とはどのような団体か。

○学校教育課長（長 和俊）

経営者、教育現場の指導者である教員や保育士、そして保護者にとって価値のあるプログラムを提供することを目的とした団体である。

本事業については、令和 3 年 2 月に新規での後援申請があり、他の自治体からの後援実績があること、また、当時の担当者が実際にオンライン講座を視聴し内容を確認したうえで承認し、その後、毎年後援させていただいている。

5 閉 会 午後 2 時 00 分

燕市教育委員会会議規則(平成 18 年燕市教育委員会規則第 2 号) 第 17 条第 2 項の規定
により会議録に署名する。

令和 6 年 8 月 22 日

教 育 長 小林 靖直

教 育 委 員 中 島 信 男

教 育 委 員 斎 藤 純 郎

教 育 委 員 小 林 恵 子

教 育 委 員 上 田 佳 澄

教 育 委 員 渡 邊 愛

会議録作成職員 斎 藤 千 華